

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成21年11月27日

化学物質等のコード :2403-2132

化学物質等の名称 :2,3-ジメチルアニリン  
2,3-キシリジン

2.危険有害性の要約

分類の名称;急性毒性物質

危険性;通常取扱条件で安定であり、危険性は低い。

有害性 眼、皮膚、気道を刺激する。吸入毒性が強く、中枢神経系、循環器系機能を抑制する。血液に作用し、メヘモグロビンを形成し、血管内溶血を起こすことがある。皮膚からも吸収され、吸入した場合と同様の中毒症状を起こす。

環境影響;低蓄積性物質

3.組成、成分情報

化学名 2,3-ジメチルアニリン 2,3-キシリジン  
含有量 99 %  
化学式・分子量  $(\text{CH}_3)_2\text{C}_6\text{H}_3\text{NH}_2 = 121.18$   
化審法整理番号 3-129  
CAS No. 87-59-2

4.応急処置

目に入った場合;直ちに多量の水及びほう酸水で15分以上洗い流し、直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合;直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。付着部又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水で十分に洗い流す。

吸入した場合;新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め直ちに医師の手当を受ける。チアノーゼ症状を起こしたとき又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。医師の手当を受ける。

誤飲した場合;水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5.火災時の処置

消火方法;火元の燃焼源を断ち消火剤を用いて消火する。延焼の恐れがないよう周辺のタンク、建物を水スプレーで冷却する。移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

消火剤;粉末、二酸化炭素、泡(アルコール泡)、水(噴霧)

6.漏出時の措置

火気厳禁とし、漏出した液を、ウエス、雑巾又は土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを界面活性剤を撒いて、多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触をさける。
- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管

- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・その他 消防法に定めるところに従う。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準;設定されていない  
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値;設定されていない

ACGIH (TLV) ; 設定されていない  
OSHA (PEL) ; 設定されていない

#### 設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化, または局所排気装置を設置する。  
・取扱い場所の近くに安全シャワー, 手洗い・洗眼設備を設け, その位置を明瞭に表示する。

#### 保護具

有機ガス用防毒マスク, 空気呼吸器, 保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴

---

### 9. 物理的及び化学的性質

外 観 淡黄色の油状液体

蒸気密度 4.2 (空気 = 1)

臭 気 刺激臭

蒸気圧 データなし

沸 点 221 ~ 222

比 重 0.995 (20/4 )

融 点 <-15

溶解度 水に難溶, エタノール, エーテルに易溶

---

### 10. 安定性及び反応性

引火点 108

爆発範囲 データなし

発火点 データなし

安定性・反応性 安定。燃焼すると分解して危険な窒素酸化物を生成。

---

### 11. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 経口-マウス LD 50 : 836mg/kg 呼吸困難

刺激性 データなし

変異原性 小核試験: サルモネラ菌 5 µmol/plate

がん原性 データなし

慢性毒性 肝臓, 腎臓, 脾臓及び血液に影響があり, メトヘモグロビンを形成することがある。

---

### 12. 環境影響情報

魚 毒 性 データなし

分配係数 データなし

その他 環境にとって危険であると思われる; 哺乳動物に対して特に注意すること。

---

### 13. 廃棄上の注意

#### 焼却法

・可燃性溶剤又は重油等の燃料と共にアフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ 噴霧し,  
できるだけ高温で焼却する。

---

### 14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 7.1 (毒物 PG 2)

国連番号 1711

---

### 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 「名称等を通知すべき有害物」 No.135

化学物質管理促進法 (PRTR法) : 第二種指定化学物質 No.50 (改正前 2-42)

化審法 : 第二種監視化学物質 687

第三種監視化学物質 49

消防法 : 危険物第四類 第三石油類 (非水溶性) 危険等級 3

船舶安全法 (危規則) : 毒物類

航空法 : 毒物

---

### 16. その他の情報

#### 参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社 (2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧 (増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物 (総論編、無機編、有機編) 三共出版

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。